

ここが聞きたい!!

7名が登壇

東和病院の展望を問う！

広田 清晴 議員

問 東和病院の改築について耐震の面から必要性は認識している。企業局の認識を問う。

答 外来棟を含めた東病棟は「耐震補強か移転新築」が考えられるが入院患者がいるので東病棟の移転新築を考えている。

問 公営企業局が運営する3病院2老人保健施設は町民にとって必要な施設として大島病院建て替えを支持してきた。あの当時誤解から「大島病院建て替えは必要なし」との声があった。今回あの当時のような混乱が起きないように町民の方々に財源問題を含めた周知を求める。東和病院の機能強化、



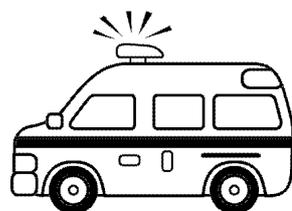
将来展望を示すことが大事。

答 地域の方々に対する説明は議会の承認後改めて考えたい。

機能強化については大島病院のような療養病床を含め検討したい。唯一整形外科の常勤医師がおり、無菌の手術室があるので今後も医師の確保を第一に考えていく。

問 企業局として、久賀地区の対応は。

答 久賀病院閉鎖の時、県に申し出たが許可がもらえなかった。現状の医師数では診療所も困難な状況である。3病院からの患者輸送車運行でご理解頂きたい。(その他、農業・教育・ケーブルテレビについて質問)



目標500軒！

平野 和生 議員

問 「周防大島町体験型観光推進協議会」が発足して3年目。その間、昨年一昨年と民泊を受け入れて来たが、来年度は15校、3,000人余りの生徒を受け入れる事が決定していると聞く。11月現在の受け入れ側民家が120軒ではとても

対応しきれないと思う。そうした中、受け入れ民家を増やす為にも、議員の評議員への参加を求め、小型船舶検査料、5～6万円を助成し、受入民家の加入促進をはかるべきでは？

答 現行の協議会の規約では、評議員は行政機関の職員をもって充てるとなっているので、議員の皆様方には、こういった形でご協力頂けるのが最良なのか、検討協議が必



小型船舶の検査証

要と考える。

小型船舶の検査料の助成に関しては、体験型観光の先進地において、助成を出している所もあるようだ。全額とはいかないと思うが、事業にご協力頂く方の負担等の軽減が計られるよう、精査検討して行く。

問 受け入れ民家の目標を200軒といわず、500軒を目標にして行かないと、10月の受け入れが大変。奮闘努力を求める。